

事業番号	010
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	職員福利厚生事業							担当部	市長公室																						
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	人事課																							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	給与厚生係																							
	総合計画 分野別計画	主目的	7 自治体経営		31 行政運営		3 時代に即した人材マネジメントを推進します																									
		副目的																														
	予算区分	款	2		項	1		目	5		大	4		中	1																	
	根拠法令・個別計画	地方公務員法、小牧市職員安全衛生管理規程																														
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	労働災害の防止及び健康管理の推進並びに福利厚生事業の実施を通して、職員が職務に精励できる職場環境を構築する。																														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 労働安全衛生管理活動(安全衛生委員会の開催、職場巡視) 職員健康診断業務(メンタルヘルス対策含む) 職員互助会への負担金支出 机、椅子等購入業務 <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <table border="0"> <tr><td>職員健康診断手数料</td><td>11,473千円</td></tr> <tr><td>職員福利厚生費負担金</td><td>14,876千円</td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td>109千円</td></tr> <tr><td>備品修繕費</td><td>21千円</td></tr> <tr><td>医薬材料費</td><td>30千円</td></tr> </table> <p>◆26年度直接経費の内訳</p> <table border="0"> <tr><td>職員健康診断手数料</td><td>16,238千円</td></tr> <tr><td>職員福利厚生費負担金</td><td>15,897千円</td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td>500千円</td></tr> <tr><td>備品修繕費</td><td>129千円</td></tr> <tr><td>医薬材料費</td><td>66千円</td></tr> </table>											職員健康診断手数料	11,473千円	職員福利厚生費負担金	14,876千円	備品購入費	109千円	備品修繕費	21千円	医薬材料費	30千円	職員健康診断手数料	16,238千円	職員福利厚生費負担金	15,897千円	備品購入費	500千円	備品修繕費	129千円	医薬材料費	66千円
	職員健康診断手数料	11,473千円																														
職員福利厚生費負担金	14,876千円																															
備品購入費	109千円																															
備品修繕費	21千円																															
医薬材料費	30千円																															
職員健康診断手数料	16,238千円																															
職員福利厚生費負担金	15,897千円																															
備品購入費	500千円																															
備品修繕費	129千円																															
医薬材料費	66千円																															
受益者負担	無																															

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	25,875	26,651	26,509	32,830	
		正職員	従事者数	人	0.40	0.40	0.40	0.40
			人件費	千円	2,104	2,104	2,104	2,104
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	27,979	28,755	28,613	34,934		
対前年比	%			102.7	99.5	122.0		
財源	一般財源	千円	27,979	28,755	28,613	34,934		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	職員健康診断受診者数	人	目標		1,026	1,047	1,082
実績				1,017	1,030	1,047	
人間ドック受診者数	人	目標		749	752	752	776
		実績		743	725	724	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			健康診断等受診率	%	目標	100	100
			実績	99	98	97	
公務災害の件数	人	目標		0	0	0	0
		実績		20	22	19	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	健康診断等の受診率が、対前年比と比較して、微減している。公務災害の件数では、対前年度と比較して若干減少している。				
		事業実施における課題	健康診断等の受診については、退職や病休等のやむを得ない場合を除き、全員受診する必要がある。公務災害については、各々の職員の自覚が必要であるため、職員に対する有効な啓発活動を実施する必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	職員の福利厚生及び安全衛生について、雇用主の義務として法定されており、法令違反となる。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	健康診断や人間ドックの受診については、未受診者に対し受診の促進を図る。メンタルヘルス対策等の安全衛生管理活動や公務災害対策等については、意識向上を図るため、グループウェアに啓発文等の掲載を図る。				
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	職員の健康管理及び快適な職場環境を維持していく必要があるため。					
	27年度以降の改善案	健康診断や人間ドックの受診については、受診率を100%にするため、受診の啓発活動を行い、職員の健康に対する意識の向上を図る。また公務災害についても、より有効な啓発活動を検討する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。